

令和7年度 南小学校 学校評価一覧表

大館市立南小学校

【校訓】 心豊かに たくましく

【学校教育目標】 絆をつむぎ ともに未来へ

<重点実践事項> ○豊かな心・健康な心と体をはぐくむ（徳・体） ○確かな学びをはぐくむ（知） ○「絆づくり教育プラン」の推進（未来）

<合言葉> いいね みなみっ子！ チームみなみでチャレンジ！ ～あいさつ・拍手・歌声で元気な学校を～

	評価項目	具体的内容	主担当	自己評価A		評価指標	実践課題	主な取組	担 当	自己評価B	
				前期	年度					前期	年度
学校経営の重点	1	豊かな心・健康な心と体をはぐくむ 思いやりの心をもち、自分のよさを認め、互いに励まし合いながら、楽しい学校生活を送り、豊かな人間性を育もうとしている。 心身の健康や体力づくりに関心をもち、健康的な生活習慣の定着や体力向上に努めている。	生徒指導主事・特別活動部長	概ね良好	概ね良好	①生徒指導の機能・自己有用感	積極的な生徒指導 自己有用感の醸成	・3つの「み」（みつめる・みとめる・みとどける）による生徒指導 ・学級目標や自己目標の設定と振り返り	生徒指導部	4	4
						②主体的な活動	全校児童が主体的に活動する学級活動・児童会活動	・自治的態度を育成する話し合い活動の工夫と充実 ・児童の主体性・企画力を育成する活動 （あいさつ運動 なかよし班活動等）	生徒指導部	3	3
						③思いやりの心と人間関係づくり	人間関係形成能力の向上	・地域の方々との交流 ・異学年（縦割り班）及び異校種校交流	教務主任 生徒指導部	3	4
							いじめ・問題行動の根絶、不登校の防止	・学校生活アンケートの実施 ・児童を語る会の充実	生徒指導部		
						④基本的な生活習慣	あいさつ・返事・規律ある生活	・心に響く道徳の授業づくり ・考え、議論する道徳の授業実践	研究・学習指導部	3	3
	望ましいライフスタイルの形成	・「ノーメディアデー」の実施 ・「メディアコントロールカード」の活用	生徒指導部								
	⑤体力の向上	継続的な体力づくりの実践	・登校指導によるあいさつ運動 ・児童会の委員会による活動	生徒指導部	3	3					
	2	確かな学びをはぐくむ 意欲的に学習に取り組む（全員挙手・全員発表のある授業）、基礎学力が定着し、向上している。	学習指導部長	概ね良好	概ね良好	⑥授業改善	学習形態・指導方法の改善	・全員挙手・全員発表のある授業づくり ・3つの「あ」のある授業づくり ・少人数学習指導・TT・個に応じた指導	研究・学習指導部	3	3
							探究型授業の実践	・「課題」「まとめ」「振り返り」のある授業 ・3つの「わ」のある授業の実践			
							言語活動の充実	・話し合い活動や表現力の育成を重視した授業づくり			
⑦学習意欲の向上						家庭学習の習慣化	・内容の工夫と家庭との連携・協力 ・「一人勉強ノート展」「家庭学習強調週間」	研究・学習指導部	3	3	
⑧諸調査の活用	諸調査の取組の工夫と学力向上	・国・県学習状況調査等の結果の活用と回復指導 ・チャレンジタイムの実施	研究・学習指導部	3	3						
3	「絆づくり教育プラン」の推進 地域の教育力を生かした様々な実践が行われているとともに、学校がその取組を分かりやすく伝えている。	教頭	良好	良好	⑨ふるさとキャリア教育の推進	「発信・交流・連携」活動の推進 地域の「ひと・もの・こと」を生かした諸活動の充実	・「さつまいも夢プロジェクト」の実施 ・地域の人材や施設等を活用した授業実践	教頭・教務	4	3	
						⑩情報発信	地域・保護者への情報発信	・学校報や学年だよりの発行及びホームページの充実 ・学校評価の公表	教頭・校長	4	4
					⑪PTA・地域関係団体との連携	地域の教育力を生かした人材活用	・地域コーディネーターとの連携 ・地域関係団体やPTAとの協働による行事運営等	教頭	4	4	
学校運営状況	4	組織・運営 特色ある学校づくりを推進するために、組織的・計画的に学校運営が行われている。	教頭	概ね良好	概ね良好	⑫学校経営方針の共通理解	学校教育目標の具現を目指した共通実践	・合言葉やキーワードを意識した全職員による諸活動の実践	教頭・校長	3	3
						⑬組織的な学校運営	P D C A サイクルによる運営改善	・定期的な評価を生かした諸活動の見直しと改善 ・全職員の学校経営参画を目指した諸会議等の精選と運用	教頭・校長	3	3
	5	特色ある教育活動 地域に根ざした特色ある教育活動が展開されている。	教務	概ね良好	概ね良好	⑭創意ある教育課程の編成と実施	学校行事及び諸活動の企画・運営	・子ども主体の活動を引き出す学校行事及び諸活動の計画と実践 ・「ふれあい夢集会」等の企画・運営	教務・教頭	3	3
	6	教師の研修 教職員が同僚性を発揮して進んで研修し、指導に生かしている。	研究主任	概ね良好	概ね良好	⑮校内外の研修	研修活動の充実	・授業力向上のための授業実践 ・各種研修会への参加	研究主任 教頭	3	3
⑯校内研究						授業改善と校内研修会の充実	・研究主題解明に向けた授業及び活動の改善・充実	研究主任	3	3	

1 豊かな心・健康な心と体をはぐくむ

評価項目	自己評価A	学校関係者評価	学校運営協議会委員のコメント	
思いやりの心を持ち、自分のよさを認め、互いに励まし合いながら、楽しい学校生活を送り、豊かな人間性を育もうとしている。 心身の健康や体力づくりに関心を持ち、健康的な生活習慣の定着や体力向上に努めている。	前期	概ね良好	概ね良好	保育所の園児が行事に参加させてもらった際に、気さくに声をかけてくれたり、優しく面倒を見てくれたりする姿が見られた。メディアは生活から切り離すことが難しい時代になってきているのでメディアを上手く活用しつつ、他にも興味、関心をもてることを見つけれられるようにして欲しい。
	年度	概ね良好	概ね良好	挨拶は改善傾向にある。メディアの使用に関しては、家庭の力によるところが大きい。言葉遣いとともに、子どもたちだけでなく、周りの大人も意識をして取り組まなければならない問題である。

学校評価の改善の概要と

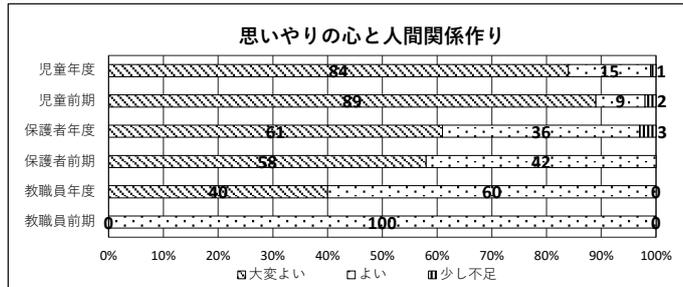
【前期(一年度)】
 ○児童、保護者ともに「歯磨きの習慣」の評価が昨年度に比べて高くなっており、虫歯のある児童数も減っている。小中学校で連携し保育園で歯磨き指導を続けてきた成果が表れたと感じる。2学期にはカラーテスターを使った歯磨き指導も予定している。また、縦割り班活動による異学年交流への達成感も高くなっており、学年を超えた絆づくりがなされている。少人数の強みを生かしながら、他学年とのつながりを強めていきたい。
 ○メディアコントロールについては、不十分だと考えている児童、保護者が昨年より増えている。熊の出没や猛暑などにより外に出ることができなかつたり、年の近い友達近くに住んでいなくなつたりすることで家庭内で過ごす時間が増えていることが原因の一つとして考えられる。そこで、委員会から集会等でメディア以外の時間の使い方について提案することで、より豊かな生活ができるような手立てをとってきたい。メディアに対する意識を家庭でも高めるように、親子で取り組むメディアコントロールも検討している。学校と家庭が同じ目標に向かえるよう、協力しながら取り組んでいきたい。
 ○毎朝、職員室であいさつをする習慣が身に付いている。しかし、声の大きさや明るさは人それぞれであり、児童や保護者のアンケートも昨年より数値が落ちてきている。誰にあいさつをしづらいのか分からないという児童もいるため、始業式や集会の折を見てあいさつの仕方を指導する予定である。また、あいさつの声をもう少し大きくするためにあいさつ名人を表彰するなど、児童があいさつをしたくなるような取り組みを委員会で企画していきたい。

【年度(一次年度)】
 ○思いやりの心と人間関係づくりの項目では、特に地域の方々との交流により人との関わりができていてと感じている人が多いことが分かる。さつまいもプロジェクトや南ガーデンとの歌声交流会などの校内の活動だけでなく、地域の文化祭やハチ公生誕祭に参加するなど、校外での活動にも意欲的に参加した。地域の方からの協力体制も厚く、地域に支えてもらいながら、学校も地域の一員として力を合わせて諸活動に取り組んでいきたい。
 ○望ましいライフスタイルについては、前期に比べ評価が落ちている。メディア講座や食に関する指導など、生活を見直す取組を行っているが、浸透するには至っていない。特にメディアに関しては達成率が低く、児童や保護者も危機感を抱いているようである。望ましいライフスタイルを確立するために、学習指導部とタイアップし、読書デーでの親子読書や読み聞かせの設定をすることで、家族でノーメディアの意識を高められるようにしたい。
 ○あいさつに関して、児童や保護者からの評価は前期よりも改善されている。しかし、達成率は平均より低いまであり、まだまだ頑張れると感じている人が多いことも事実である。また、言葉遣いに対して心配する声も上がっているため、委員会活動の一環として言葉遣いを正す呼びかけを行ってきた。3学期には言葉遣いを見直す週間を設定し、児童が自分や友達言葉遣いについてじっくりと考え、お互いに正し合えるようにしていきたい。また、児童だけでなく、周りの大人も丁寧な言葉を使って児童と接していくことも必要である。

評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			前期	年度
①生徒指導の機能・自己有用感	積極的な生徒指導、自己有用感の醸成	・3つの「み」(みつめる・みとめる・みとどける)による生徒指導 ・学級目標や自己目標の設定と振り返り	4	4
②主体的な活動	全校児童が主体的に活動する学級活動・児童会活動	・自治的態度を育成する話し合い活動の工夫と充実 ・児童の主体性・企画力を育成する活動(あいさつ運動 なかよし班活動等)	3	3
③思いやりの心と人間関係づくり	人間関係形成能力の向上、いじめ・問題行動の根絶、不登校の防止、道徳的な課題の克服	・地域の方々との交流・異学年(縦割り班)及び異校種校交流・学校生活アンケートの実施 ・児童を語る会の充実・心に響く道徳の授業づくり・考え、議論する道徳の授業実践	3	4
④基本的な生活習慣	あいさつ・返事・規律ある生活、望ましいライフスタイルの形成	・登校指導によるあいさつ運動・児童会の委員会による活動 ・「ノーメディアデー」の実施・「メディアコントロールカード」の活用	3	3
⑤体力の向上	継続的な体力づくりの実践	・業間運動(マラソン・縄跳び)の実施	3	3

★実践 ○児童 □保護者 ◇教職員

【②主体的な活動に関するデータ】



○運動会や「さつまいもプロジェクト」などに、進んで取り組んでいる。

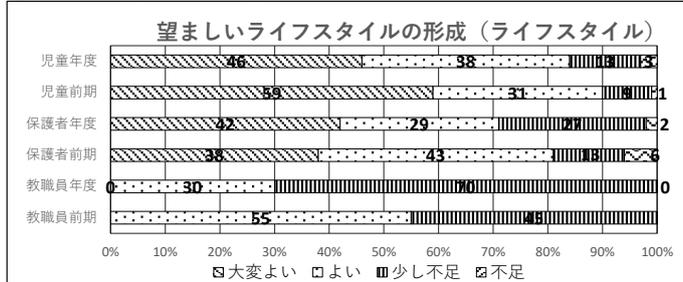
□行事や学習を通して、地域の方々や子どもたちの交流が深まっていると思いますか。

◇児童は、様々な体験活動や交流等を通して人との関わりを学んでいますか。



★さつまいもプロジェクト感謝の会

【④基本的な生活習慣に関するデータ】



○早寝・早起き・朝ごはんをがんばっている。

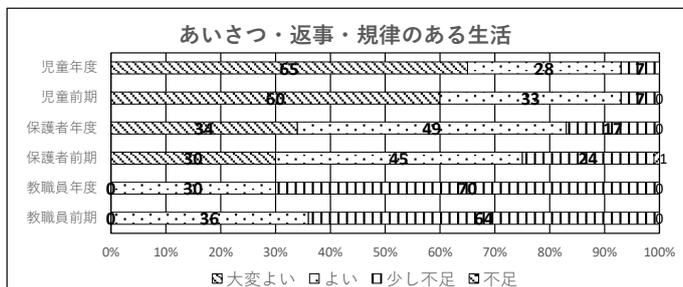
□お子さんは、十分な睡眠を取り、始業に間に合せて起きていますか。

◇児童は、ノーメディア等の実施により、望ましいライフスタイルを身に付けていますか。



★栄養教諭による食に関する指導

【④基本的な生活習慣に関するデータ】



○先生や友達、地域の方に、自分から明るく元気なあいさつをしている。

□お子さんは、元気なあいさつや返事ができていますか。



★児童会委員によるあいさつ運動

2 確かな学びをはぐくむ

評価項目		自己評価A	学校関係者評価	学校運営協議会委員のコメント
意欲的に学習に取り組み、基礎学力が定着し、向上している。	前期	概ね良好	概ね良好	どの授業も児童にとって楽しく、分かりやすい授業を工夫していると思った。
	年度	概ね良好	概ね良好	先生方の様々な工夫が授業や教室掲示にあった。本時のねらいが明確にされていて、子どもたちが理解しやすい授業であった。前述したことがどの授業からも共通して感じられた。

学校評価の概要と

【前期(一年度)】

【言語活動の充実について】自分の考えを発表することや、その場で質問や感想を考えて話すことが苦手な児童が多いため、3年前から続けている朝の会のスピーチタイムや行事等の感想発表の場を通して、人前で話すことに少しずつ慣れさせてきた。しかし、話すときの声の大きさには課題があるので、自分の声を相手に届けるということをもっと意識させたい。また、友達の話をよく聞いて、うなずいたり声を出して反応したり、拍手で賞賛したりすることも大切にし、自分の話を友達がいつも聞いてくれるという安心感をもてるように指導していく。今後も経験を積み重ねて、自信をもって堂々と話したり、友達と話合って学習を深めたりできるようにしていきたい。

【家庭学習の習慣化について】本校の実態から、多くの児童は放課後児童クラブやスポーツ少年団が始まるまでの間に宿題や一人勉強をしている。そのため、児童が家庭で学習している姿を保護者は見ることが少ない。家庭での学習習慣が身に付くよう、宿題や一人勉強は家でやるように指導していきたいが、それぞれの家庭の生活状況からも難しい。しかしながら、保護者の励ましの言葉やアドバイスが児童の意欲をより高めると

【年度(一次年度)】

【言語活動の充実について】児童のアンケートでは+4ポイントではあるが、教職員と保護者は評価が下がっている。今後も引き続き、人前で話す機会を増やし、その場で考えて話す力を伸ばしていきたい。話す内容については、低学年は二文以上・高学年は三文以上などの目標を決めて、学年が上がるにつれて理由などを付け加えて話せるように段階的に指導していく。

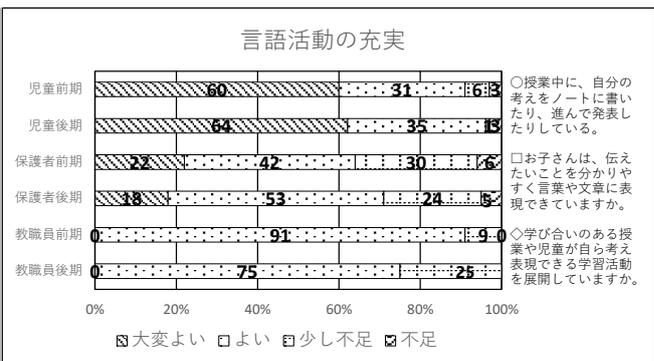
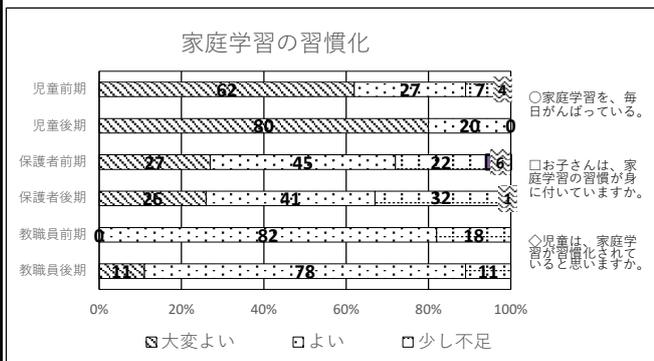
【家庭学習の習慣化について】家庭学習の習慣が身に付くよう、家庭へ呼びかけて取り組んではいるが、保護者からの評価が低いままである。保護者の協力が不可欠であることを伝えるために、PTA(全体会・学年懇談)のときに話題にしたり、中学校の先生を招いて講話していただいたりすることで、進級・中学校へ進学したときの学力とのつながりや、中学校で困っていることを理解してもらうなどして、啓発のための手立てをとりたい。

評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			前期	年度
⑥授業改善	学習形態・指導方法の改善 探究型授業の実践・言語活動の充実	・三つの「あ」のある授業づくり・少人数学習指導・TT・個に応じた指導 ・「課題」「まとめ」「振り返り」のある授業・三つの「わ」のある授業の実践 ・話し合い活動や表現力の育成を重視した授業づくり	3	3
⑦学習意欲の向上	家庭学習の習慣化	・内容の工夫と家庭との連携・協力	3	3
⑧諸調査の活用	諸調査の取組の工夫と学力向上	・国・県学習状況調査等の結果の活用と回復指導 ・チャレンジタイムの実施	3	3

★実践 ○児童 □保護者 ◇教職員

【⑦学習意欲の向上に関するデータ】

【⑥授業改善に関するデータ】



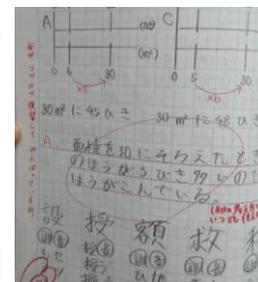
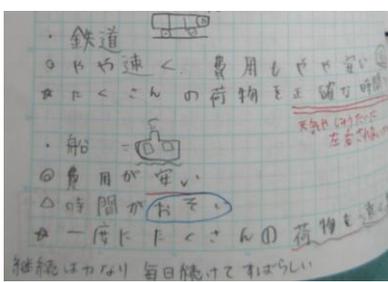
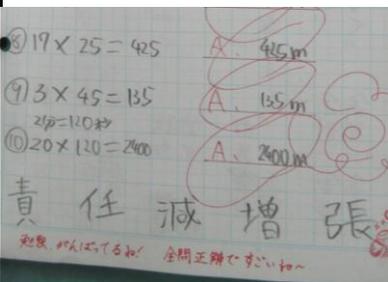
☆挙手による感想発表

さつまも曼返し・収穫の日など、行事では、各学年から1名、



☆家庭学習強調週間

家庭学習の様子を見たり、丸つけや励ましのコメントを書いたりしてもらおうように保護者へ協力を呼びかけ



3 「絆づくり教育プラン」の推進

評価項目		自己評価A	学校関係者評価	学校運営協議会委員のコメント
学校の取組を分かりやすく伝え、地域の教育力を生かした様々な実践が行われている。	前期	良好	良好	絆づくりの取組について、参観や学校報を通して分かりやすく伝えられていると思う。行事の一部に保育所の園児が参加させてもらっていることで、保育所にとって小中学校や地域の方々との絆づくりになり、ありがたい。
	年度	良好	良好	

学校評価の価値の概要と

○「さつまいも夢プロジェクト」は、本校の様々な活動の柱となっており、保護者や地域の方々からも高い評価をいただいている。秋田市の大森山動物園との交流も継続しており、発展性の高い学習活動である。大森山動物園の職員の方を講師として開催した「ふれあい夢集会」についても、今年は「動物の子育て・元気のひみつ」をテーマに講話をしていただき、これまで知らなかった動物たちが生きるための術について考える機会をもつことができた。

○「PTA・地域関係団体との連携」については、4月のPTA総会、7月の学期末PTAも9割を超える出席率であった。また、「地域の教育力の活用」についてのアンケートでは、保護者の「大変よい・よい」の割合は①地域の教育力②地域・諸団体と連携とも97%であった。

○「さつまいも夢プロジェクト」をはじめ、隣接する高齢者施設との交流、公民館や二井田保育所・元気ひろば保育園・南中学校と連携した活動等、地域一帯となつての活動を盛んに展開している。

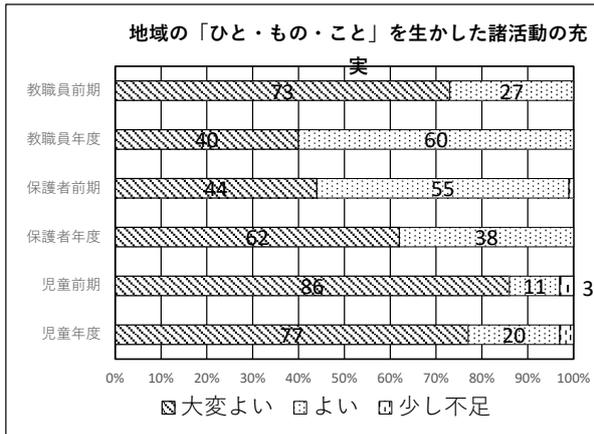
○後期は、昨年から進めてきた50年記念事業に向けての活動の仕上げを行っていく。ちぎり絵や文鎮製作、記念誌発行、真中小・二井田小・杉沢小の校歌披露等PTAや地域の方々の力を借りながら進めている。これらの様々な活動を通して、地域の方々とともに交流を深めることで地域への愛着心・愛校心を高め、地域のおよさや特色を教育に生かす活動を学校、地域と共にさらに推進していきたい。

【年度一次年度】
 ○ふるさとキャリア教育では、50年記念事業を軸に、地域のかっこいい大人の力を借り様々な心震わせる体験を行うことができた。その結果、地域への愛着心・愛校心・異学年交流が高まり、子どもたちの考え方や自分の将来により影響を与えたと考えられる。
 ○例年にはない様々な体験を行ったことで、ふるさとキャリア教育に関する保護者の達成率は、前期よりも大きく伸びている。一方で、児童と教職員の「大変よい」の数値がかなり下がっている。これは、活動を行う上での多忙感やマンネリ化の表れだと考えられる。子どもにつけたい力を明確にして、活動の精選や工夫をしていく必要がある。
 ○さつまいも苗植えや収穫について、児童数の減少や地域の方々の高齢化等を考慮し、畑の畝数や苗の本数を減らし、児童の作業を一部簡略化するなど活動内容を工夫した。今後も無理なく活動を持続できるように工夫していきたい。
 ○大森山動物園との交流は今年で12年目を迎えた。ふれあい集会や動物園訪問により、子どもたちには特に「生命尊重・自然愛護」の心情が育まれていると感じている。しかし、教育課程や訪問のための財政面等を考えると、来年度は活動をやや縮小しなければならぬと考えている。
 ○「地域の教育力を生かした人材活用」について、保護者も教職員も前期とほぼ横ばいの数値になっている。今後も豊富な人材や施設を子どもたちの教育のために生かし、子どもたちにとってより充実した活動にしていきたい。

評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			前期	年度
⑨ふるさとキャリア教育の推進	「発信・交流・連携」活動の推進 地域の「ひと・もの・こと」を生かした諸活動の充実	・「さつまいも夢プロジェクト」の実施 ・地域の人材や施設等を活用した授業実践	4	3
⑩情報発信	地域・保護者への情報発信	・学校報や学年だよりの発行及びホームページの充実 ・学校評価の公表	4	4
⑪PTA・地域関係団体との連携	地域の教育力を生かした人材活用	・地域コーディネーターとの連携 ・地域関係諸団体やPTAとの協働による行事運営等	4	4

★実践 ○児童 □保護者 ◇教職員

【ふるさとキャリア教育の推進に関するデータ】



○いろいろな活動を通して、地域の方とふれあうのが楽しい。

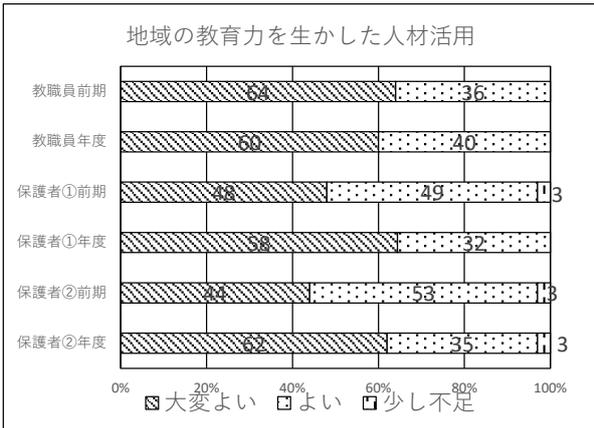
□お子さんは、「さつまいも夢プロジェクト」などを通して、地域の「ひと・もの・こと」と関わっていると思いますか。

◇さつまいも夢プロジェクトなどの取組を通して、地域と連携したふるさとキャリア教育が展開されていますか。



「6年生記念スイーツ作り」：地域のパティシエの方「稲刈り」：今年から5年生に加え4年生も一緒に相談しながらお菓子作りに挑戦。地域の田んぼで稲作を体験した。

【PTA・地域関係団体との連携に関するデータ】



「動物園訪問」：動物たちの餌として、園長さんに本校でとれたさつまいもを贈呈した。「ハチ公生誕祭」：1～4年生の有志が出演し、元気にハチくんダンスを披露した。

□①学校は、子どもたちの学習に地域の方々の教育力(さつまいも関連や地域探検・校外学習等)を効果的に活用していると思いますか。

□②学校は、地域の関係団体やPTAと効果的に連携して、行事(交通安全指導や朝のあいさつ運動など)を行っていると思いますか。

◇地域の教育力を生かした人材活動、関係団体との連携協力体制が機能していますか。

4 組織・運営

評価項目		自己評価A	学校関係者評価	学校運営協議会委員のコメント
特色ある学校づくりを推進するために、組織的・計画的に学校運営が行われている。	前期	概ね良好	良好	先生方の評価は厳しいものになっているが、到達度を高く設定しての結果であると考え。目指す方向が明確であり、それに向けて先生方が一丸となって取り組んでいるので、継続してもらいたい。
	年度	概ね良好	良好	職員数が少ない中での組織づくりや運営は大変だと思う。各教室に掲示された三つの「あ」や三つの「わ」など、子どもたちや先生方によく意識されている。職員アンケート結果にも向上が見られる。

学校評価の概要と改善策

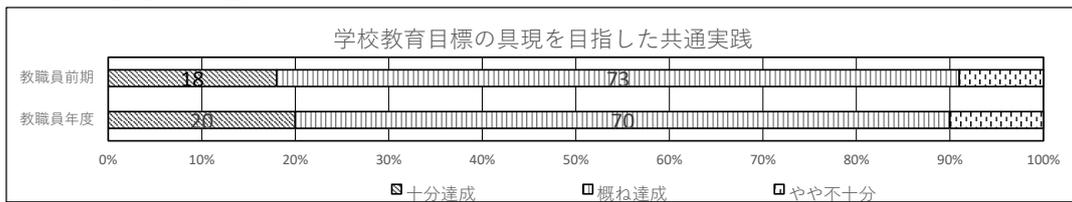
【前期(→年度)】
 ○職員アンケート結果では、「学校教育目標の具現」の項目は「十分達成・概ね達成」で91%、「PDCAサイクルによる学校改善」については100%という結果であったが十分達成の評価はよくない。学校経営方針が子どもの姿として表れてくるよう、教育活動を行っていく必要がある。
 ○スローガンの「3つの『あ』」や「3つの『わ』」、授業中の児童間のやり取りを大切に「チームみなみ」の取り組み、また、小中共通実践である「あいさつ・拍手・歌声」も職員に浸透し、実践が為されている。また、年度当初に研究主任が低・高学年それぞれで学習オリエンテーションを行った。さらに、「3つの『あ』」や「3つの『わ』」について校内に掲示もされており、子どもたちにスローガンが浸透し、学習への意欲も高まっている。
 ○学校教育目標を具現化するため、諸活動が盛んに行われ子どもたちは充実している。一方で、職員の多忙感は拭えない。今年度は創立50年記念事業のため、忙しさに拍車をかけているが、様々な行事や活動の在り方を見直し、精選していく必要があると思われる。

【年度→次年度】
 ○「人との絆づくり」を土台にして、様々な学習・体験活動を展開してきた。創立50年記念事業やさつまいも夢プロジェクトを軸に、地域のかっこいい大人との出会いや異学年活動・他校種との交流が充実した活動となった。また、隣接する高齢者施設とは年間を通して交流させていただき、児童の情操がより育まれてきている。各家庭とも協力し合い、「絆づくり教育プラン」を推進することができた。
 ○PDCAサイクルが機能するように、各行事や活動後の評価をしっかりと行い、次に生かしていく必要がある。指導部長にも働きかけ、運営改善を行ってきたい。
 ○共通実践・学校運営とも、前期と数値が同じであった。これは、共通実践や運営改善が全職員に浸透していない表れだと考える。次年度に向け、学校教育目標の実現のため全職員が参画し、組織的に実践できるよう見直しを図る必要があると考える。今年度の反省を基に具体的施策を明確にし、全職員で足並みを揃えて取り組んでいくことが大切だと考える。

評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			前期	年度
⑫学校経営方針の共通理解	学校教育目標の具現を目指した共通実践	・合言葉やキーワードを意識した全職員による諸活動の実践	3	3
⑬組織的な学校運営	PDCAサイクルによる運営改善	・定期的な評価を生かした諸活動の見直しと改善 ・全職員の学校経営参画を目指した諸会議等の精選と運用	3	3

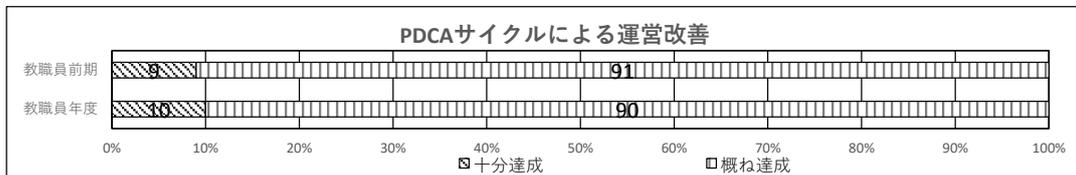
[学校経営方針の共通理解に関するデータ]

◇学校教育目標の具現を目指して、共通実践が行われていますか。 (3つの「あ」、チームみなみ、あいさつ・拍手・歌声など)



[組織的な学校運営に関するデータ]

◇PDCAサイクルによる学校運営が、十分行われていますか。



小中共通指導実践「心に響く歌声」：記念式典をはじめ、明るい歌声を届けた。



5年生販売活動：地域や家庭との絆を深め、充実した体験活動となった。



6年生小中交流会：他校種との交流により、未来への期待が高まる体験になった。

5 特色ある教育活動

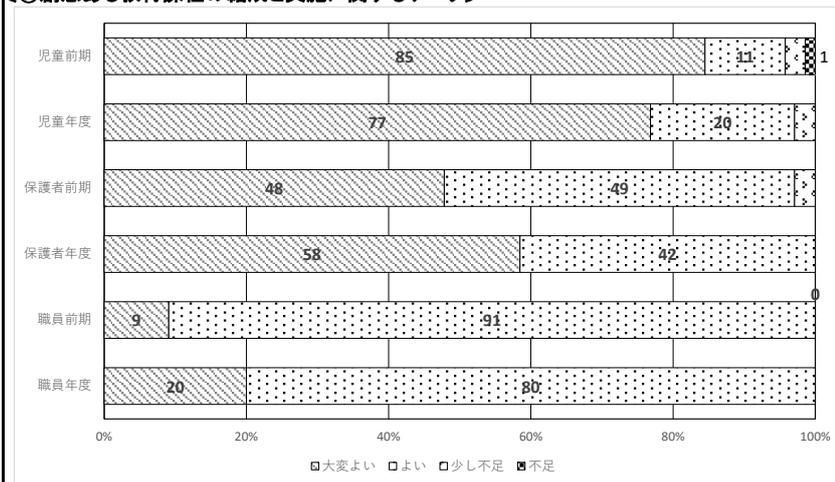
評価項目	自己評価A	学校関係者評価	学校運営協議会委員のコメント	
地域に根ざした特色ある教育活動が展開されている。	前期	概ね良好	良好	これまでの取組を確実に継承している。何よりも「南小学校の特徴と言えば」という問いに対する答えを子どもたちがしっかりと持っているところがよい。今後も、何のためにやっているのかを分かるように、事後の振り返りを確実に行ってほしい。
	年度	概ね良好	良好	学習発表会で統合三校の校歌を歌ったこと、また、子どもたちが真剣に歌う姿がすばらしかった。身近な地域の方々を大切にしていることが強く伝わってきた。南学区の歴史と伝統をこれからもつないでいてほしい。

学校評の価値の概要と	【前期(一年度)】 ○今年度も小中合同運動会を開催した。今年度は、小学校50年、中学校60周年の記念の運動会であった。地域住民・保護者は大文字踊りと宝探し、そして、ドローンによる記念撮影に参加した。児童生徒と一緒に競技はなかったが、それぞれの競技を応援し合ったり手伝ったりする姿が見られ、保護者アンケートでも高評価だった。次年度への課題として、雨天時の遊技の扱いが話題となった(予備日に実施するのか、体育館で実施するのか、得点に入れるのかなど)。更によりよい運動会になるよう検討していきたい。 ○地域コーディネーターや公民館館長をゲストティーチャーに迎え、米作りやさつまいも栽培、統合する前の学校の様子などについて詳しく学んだ。また、地域の先生に教えてもらいながら、50年記念事業としてちぎり絵を製作している。今後は、地域を守る消防団の働きについても教えていただく予定である。地域の方々のおかげでより深まりのある学習を進めることができる。 ○ふれあい夢集会では、低学年と高学年に分かれて、大森山動物園の飼育員さんから「動物の子育て」や「動物の元気のみみつ」をテーマに講話をいただいた。写真や動画、毛皮を見せながらのお話だったこともあり、子どもたちにとって興味深く、分かりやすい内容だった。そして、動物の赤ちゃんの成長を通して、親の愛情について考えたり感じたりすることができるよい機会となった。2学期の動物園訪問が、各学年それぞれの課題解決につながる学びの場になるように、学習計画を練ってきたい。 ●全体的に高評価であったが、不足に感じている児童や保護者も若干名いる。活動の意味を考えさせ、事前指導や振り返りの時間を大切にすることで、より前向きに向かうことができると考える。あわせて教師の多忙感を解消できるよう、活動の見直しや精選にも努めていきたい。
	【年度(一次年度)】 ○学習発表会の予行やマラソン記録会等に園児を招待したり、合唱を南ガーデンの方々に聞いてもらう機会を設定したりして、少しでも多くの地域の方々に児童の活躍を見てもらう機会を設けた。学習発表会では、統合前三校の校歌を合唱し、保護者からあたたかい感想が寄せられた。 ○動物園訪問やさつまいも夢プロジェクトについては持続可能な活動になるよう、今年度の取組について振り返りを行い、成果と課題を来年度に引き継ぎたい。 ○ドローン撮影や記念誌、ちぎり絵、文鎮、さつまいもスイーツ制作など様々な活動を保護者や地域の方々が行い、南小50年と一緒に祝うことができた。 ○今年度も多くの保護者・地域の方や虻川コーディネーターの協力を得て、さつまいも夢プロジェクトを行った。児童による販売活動は、自分たちの活動を多くの人に知ってもらうためにショッピングセンターや駅前で行った。また、さつまいものつるのリース作り、リーフレット作りなど、児童の考えを生かしながら学びを深めていく活動が展開された。今後も、工夫・改善を図り、主体的に夢や希望に向かって努力する子どもを育む行事・教育活動を企画・運営していきたい。 ●様々な活動で児童を育てているが、多忙感や通常の学習への支障があった。育てたい力を考えて学校行事や総合的な学習の時間の精選を図っていきたい。

評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			前期	年度
⑭創意ある教育課程の編成と実施	学校行事及び諸活動の企画・運営	・児童主体の活動を引き出す学校行事及び諸活動の計画と実践 ・「ふれあい夢集会」等の企画・運営	3	3

★実践 ○児童 □保護者 ◇教職員

【⑭創意ある教育課程の編成と実施に関するデータ】



○学習発表会や「さつまいも夢プロジェクト」などに、進んで取り組んでいる。

□学習発表会などの学校行事や、さつまいも夢プロジェクトなどの活動に子どもたちは意欲的に取り組んでいると思いますか。

◇学校行事や諸活動の計画や運営に、工夫改善が図られているか。



☆さつまいもリースのプレゼント
南ガーデンさんへさつまいものつるで作ったリースをプレゼントしました。



☆お米とさつまいもの販売
宣伝のためのポスターやさつまいもレシ



☆感謝の会
さつまいも夢プロジェクトに協力していただいた方々を招待し、活動の様子を伝えたりさつまい

6 教師の研修

評価項目	自己評価A	学校関係者評価	学校運営協議会委員のコメント	
教職員が同僚性を発揮して進んで研修し、指導に生かしている。	前期	概ね良好	概ね良好	授業で勉強していることが分かるアンケート結果で、全く当てはまらないと答えた児童がいなかった。これは先生方の授業が分かりやすい、工夫している等があるからだと思う。先生方が研修や自己研鑽を頑張っている証なのではないだろうか。
	年度	概ね良好	良好	長となる先生を中心とした取組の積み重ねが、アンケート結果の向上につながっている。職員数が少ない中、ほとんどの先生が学級担任との兼務となっている。日々の授業のための教材研究と分掌に関連する業務の両立を図り、よく取り組まれている。

学校評価の概要と学校の改善策

【前期(一年度)】

学校アンケート結果を見ると、大きな変化はない。しかし、児童アンケート16「授業で勉強していることが分かる」、17「めあてや課題について学習したり振り返ったりしている」について下降傾向が見られた。しかし、研究部で行った『算数アンケート』では、昨年度から取り組んでいる「自分の考えをノートに書くこと」、「進んで自分の考えを発表すること」について昨年度より頑張っていると答えた児童が増えている。そして、練習問題に取り組んでいる時間が楽しいと答えた児童が大幅に増えている。しかし、発表することが楽しいと答えた児童の割合は少ない。

今後に向け取り組んでいくことは、2点①「チームみなみ」の充実(言語活動の充実)と②分かる授業の推進である。1学期は、「チームみなみ」の充実、そしてそれを支えるための見通しの時間のもち方を重点として取り組んできた。2学期は、先生たちの実践を広め、授業力向上につなげたい。また、児童同士の話し合いの場の設定(教師は適切な時だけ、適切な問い返しで入る)、そのための効果的な学習形態についても研究部から情報を出していく。そのような授業を行うためには、教材研究、準備がとて大切なので、授業について相談し合える場づくりも行う。どの教科にも苦手と感じている児童がいる。授業準備の際には、その児童も「楽しい」と感じることができる場面を授業の中で作ることもあわせて進めていきたい。

【年度(一次年度)】

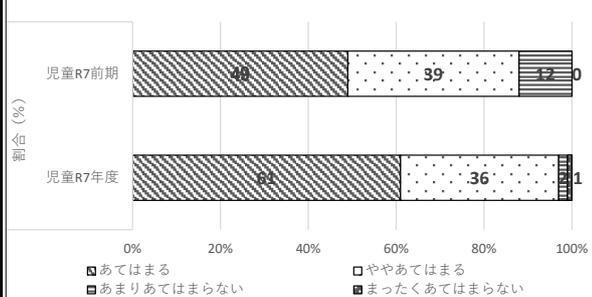
児童アンケート16「授業で勉強していることが分かる」、17「めあてや課題について学習したり振り返ったりしている」について、改善傾向が見られた。今年度の研究は、重点実践事項を本校の実態に合わせ、学期ごとに力を入れて取り組むことを具体的に示し、みんなで取り組んできた。先生たちは、学級の児童が「分かった」「できた」と感じることができる授業を目指して特に「見通し」の時間を大切に授業を行っていた。また児童も、年度当初や10月の学習オリエンテーションで確認した学習の約束(話す・聞く大作戦)を意識して学習に取り組むよう心がけている。その積み重ねが今回のアンケート結果に現れていると思われる。

しかし、「自分の考えを伝えること」や「友達の考えを聞くこと」を楽しんでいる児童は少なく、自分の思いを表現することが苦手だと感じているようである。また、思考・判断し、表現する力が課題であると感じている先生たちも多い。来年度は、その部分を育てていく取組が必要だと感じている。

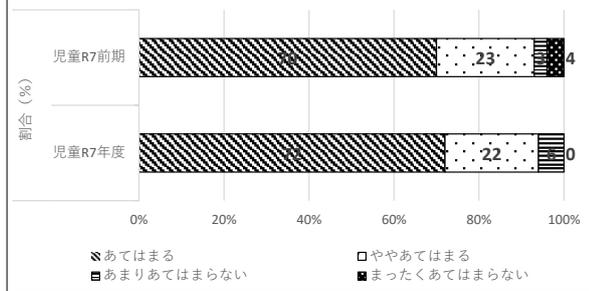
評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			前期	後期
⑮校内外の研修	研修活動の充実	・授業力向上のための授業実践 ・各種研修会への参加	3	3
⑯校内研究	授業改善と校内研修会の充実	・研究主題解明に向けた授業及び活動の改善・充実	3	3

★実践 ○児童 □保護者 ◇教職員

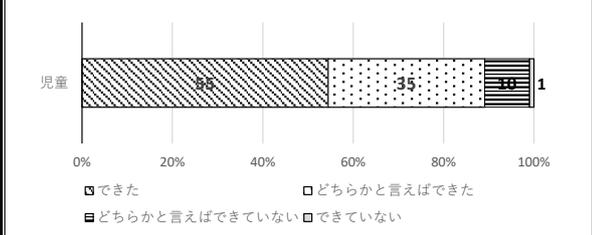
○授業で勉強していることが分かる。



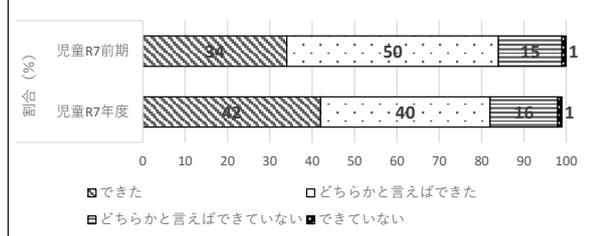
○めあてや課題について学習したり振り返ったりしている。



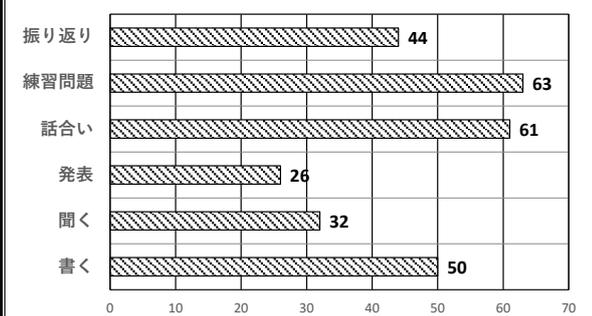
○友達がどんな考えなのか考えながら聞いていますか。(算数)



○進んで発表していますか。(算数)



○算数の時間、楽しいのはいつですか。(複数回答)



ま シ十
で 学 ヨ月
の 級 ン
の 学 の 学
習 と 習
へ に オ
の 学 リ
取 級 エ
り の ン
組 こ テ
み れ